

新型コロナウイルス感染防止を意識した連休中の過ごし方について

平素から、本校教育活動へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、見出しのことにつきまして、県内における新型コロナウイルスの感染の広がりが、いよいよ憂慮される状況となってきました。

学校では8月1日から始まる地区夏季総体、8月13日以降の2学期に予定されている学校行事をみすえ、学校の教育活動が円滑に実施され、子供たちの学校生活が有意義になることを目指しているところです。

しかしながら、子どもたちのコロナ感染防止にかかる意識や行動に気のゆるみがみられたり、さまざまな憶測などによる風評被害・偏見・いじめなどの懸念があります。

つきましては、下記により学校生活上の課題をお知らせするとともに、各家庭で取り組みを強化していただきたいことを共有し、感染拡大防止の充実を図っていきたくと存じますので、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。

記

1 学校の現状について

- マスクを忘れる生徒が多い。
- マスクを外したまま、友達と話す。
- 肩を組んで歩いたり、じゃれあったりして遊んでいる。
- 水筒を持たず、他人の物を飲んだりする生徒がいる。
- 給食時間などにマスクを外したまま話をする生徒がいる。



2 徹底したい感染防止対策について

- マスクは（予備も含めて）必ず持参すること。**
- 十分な距離の確保が出来る時以外はマスクを着用すること。**
- 熱中症予防のために熱がこもった場合はマスクをずらし呼吸を整えてもよいこと。
- マスクを外す場合は、人との会話をしないこと。**
- マスクをしていても、肩を組んだりじゃれあったりしないこと。
- 熱中症の予防のためにも、できるだけ水筒を持たせること。人の物を飲まないこと。**
- 食事中の会話はしないこと。（マスクをしてから話をする。）**

3 連休中（夏休み中）の過ごし方および保護者への協力願い

- ☆連休中は、家族と過ごす時間が増えます。**人が密集する場所をさける、または、感染予防対策をしっかりと出かける**など、家庭での対策をお願いします。
- ☆感染拡大を防ぐためにも、どこに出かけたか、どの場所に行ったのか、誰と一緒にだったのかは、重要になります。出来る限り把握してください。
- ☆家族の中で、体調不良者が出た場合には、家族内での十分な対策をお願いします
- ☆これまで通り、お子さんの**体調がすぐれない場合は、無理に登校せず、ご家庭でゆっくりと休養し体調を整えてから登校**させてください。

学校で感染者が出た場合はどうなりますか？

1 学校は5日間程度の臨時休校になります。

○濃厚接触者(感染のおそれが高い人)の特定や消毒を行います。

2 その後、状況によって、さらに10日間程度の臨時休校になります。

○濃厚接触者の人数やその後の状況により期間が決まります。

この休校期間は、前回の臨時休業期間とは異なり、職員も含めて自宅待機になります。学校に誰もいない状態での消毒などの作業を行います。



【濃厚接触者の特定について】

○学校の判断ではなく、保健所などの専門機関を通しての判断になります。

○感染者の出欠の様子、学校での活動の様子などを報告して判断することになります。したがって、周囲の複数名・学級全員・学年全員・部活動の生徒など、検査を受ける生徒の割合が変わってきます。

↓ 例えば、こんな風に考えられます。

ケース①	体調不良が続いて、4～5日学校を休んでいる時に発症 → 本人が登校していないので濃厚接触者は0
ケース②	登校していて発症。常にマスクをし、感染防止をきちんとしていた。 → 本人の周囲の生徒や友人数名、教職員が濃厚接触者
ケース③	体調がすぐれないのに登校し発症。マスクの着用状況も悪く常に注意されていて、肩を組んで歩いたり、プロレス遊びをしていた。 → 複数の生徒と関わったり、体調がすぐれないのに登校し、マスクの着用ができていないことから、学校全体を休校にし、学年全員及び体調不良者は検査を受けることになる。

もちろん、この期間、学校行事等の延期や中止など、大きな影響が出るようになります。また、部活動は停止になります。各部、大会への参加もできなくなる可能性も高くなります。

【今大事なことは】

○もう一度、気を引き締めて、一人一人が感染拡大防止対策を行うことです。
(マスクの着用・手洗いうがいの徹底・かからない、うつさない行動)

○症状のあらわれない感染者もいます、発症した人が感染を広めたという事にはなりません、犯人探し・憶測や偏見で人を傷つけたりすることがないように心がけましょう。